

<報道発表資料>

令和5年2月7日

県道日高川島線 南平沢工区が開通します — 令和5年3月26日（日）15時供用開始 —

(同時発表：所沢記者クラブ)

県道日高川島線 南平沢工区が、令和5年3月26日（日）15時に開通します。
県では、交通の円滑化を図るため、南平沢交差点から県道飯能寄居線バイパスまでの515m区間において、道路整備を進めてまいりました。

このたび、道路整備が完成し、供用開始することとなりました。

本工区の開通により、県道飯能寄居線バイパスとともに道路網が形成され、埼玉医科大学国際医療センターへのアクセス強化などの効果が見込まれます。

開通に先立ち、同日10時から開通記念式典を行います。

1 県道日高川島線 南平沢工区 事業概要

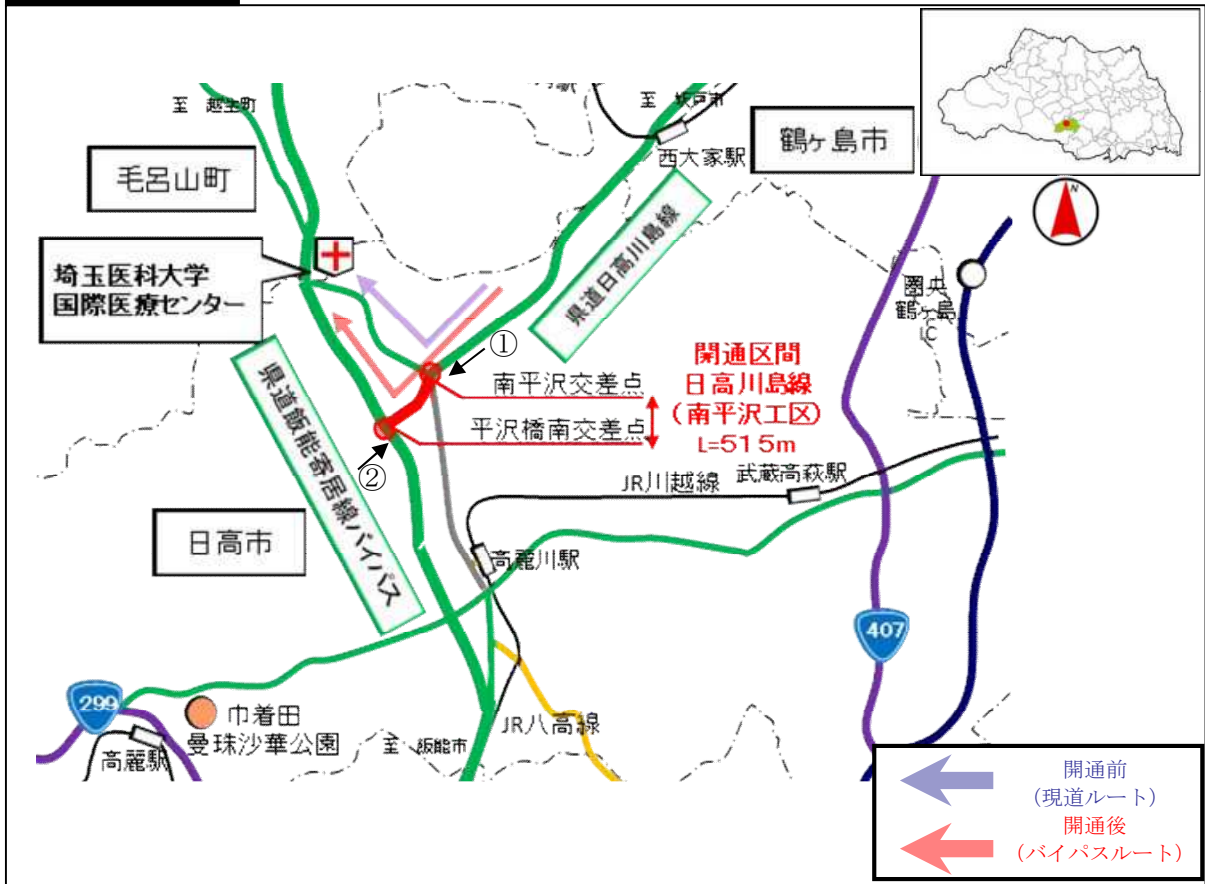
事業区間	日高市大字南平沢地内（平沢橋南交差点～南平沢交差点）
延長	515m
幅員	15.0m（2車線）
着手年度	平成25年度
事業費	約6億円

2 県道日高川島線 南平沢工区 開通記念式典

日時	令和5年3月26日（日）10時～
場所	日高市大字南平沢地内
内容	式辞、工事経過報告、感謝状贈呈、祝辞、テープカット、 久寿玉開披、祝賀パレードなど

※式典と併せて、地域の皆様による記念行事が行われます。

位置図



整備効果

①道路ネットワークの強化

坂戸市方面から県道飯能寄居線バイパスへのアクセスが向上することで、県道のネットワークが強化され、円滑な交通が確保される。

②交通渋滞の緩和

円滑な交通の確保により、慢性的な渋滞が生じている現道において、渋滞の緩和が期待できる。

③沿線の住環境の改善

狭隘な現道を通る車両が交通転換されることにより、現道の安全性の向上、騒音・振動の軽減など、住環境の改善が図られる。

①交通渋滞の状況（南平沢交差点）



②整備状況（バイパス）

